

大震災物故者総追悼法要

―武田邦彦氏を迎えて―

阪神・淡路大震災から十八年目を迎えた一月十七日、神戸別院本堂にて『阪神・淡路大震災物故者総追悼法要』が勤められた。

震災の物故者を偲ぶ参拝者で満堂の中、輪番が法要の表白にて、阪神・淡路大震災と、一昨年三月に起こった東日本大震災の被災者・物故者にも

想いを馳せ、人の世の無常をかみしめつつも、如来の大悲を聞き、念仏もろとも力強く生き抜く旨を、ご本尊の阿弥陀如来に敬白した。

法要に引き続いて行われた『いのち』を考える研修会』では、輪番挨拶の後、宗門関係学校の学生代表による『いのちを考える作文』の朗読発表

が行われた。(二面に関連記事)
作文の朗読の後、講演会が開かれ、武田邦彦氏(中部大学教授・内閣府原子力委員会専門委員)を講師に迎え、震災や原発問題などをテーマに話を頂戴した。

武田氏は講演の中で、東海大地震の話に触れられ、その根拠を述べつつも「いつ地震が来るか、とよく言われるが、本当は地震というものは予知できない。どのくらいの大きさの地震がくるかは予想できるが、いつ来るかという事はわからない。明日来ると思ってた心掛け

ていることが大切です。」
「どこに地震が来るか、いつ来るかという話と、『家族のいのちを守る』ということは、しっかりと分けて考えないといけない。」

など、軽妙な語り口の中に科学者らしい論理的な解説を交えながら、解りやすいお話を頂いた。

最後は増井浄見師(赤穂北組浄蓮寺)の挨拶にて研修会は閉会した。



「はじめをした人、正直に手を挙げなさい」中学校

の放課後の教室に先生の大きな声が響き渡りました。教室はシーンと静まり返り、誰一人手を挙げませんでした。誰がはじめをしているか、皆知っていました。おそらく先生も。無音の教室で長い長い時間が経ちました。外は段々と暗くなってきました。◆「はい」一人の女の子が泣きながら手を挙げました。全員が驚きました。その子は真面目で大人しい女の子で、皆が思っていた犯人とは違う子だったからです◆その子は「私はいじめられていた○君と何度も何度も目が合ったのに、何もできず目をそらしてしまいました。○君に対してとてもひどいことをしてしまいました。ごめんなさい。」と、嗚咽しながら言ったのでした◆普段、私達が他人事だと思っていること、本当に他人事でしょうか。どこかで必ず私も原因となっていて、これを縁起の法だと聞かせて頂きます。

揖龍東組 西福寺 尾野智行



教区新報

HO YOG

発行所

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
〔編集〕 兵庫教区広報部

2013. 1 186号



解りやすいお話を頂いた(武田邦彦氏)

パソコン新時代へ

「ホームページをリニューアル」

別院・教務所ではこの度、利用する皆様の利便性を高めるために、ホームページをリニューアルいたしました。

別院の案内が一新・充実したと共に、各種研修会報告書や助成金申請書など、教務所各種申請用紙のダウンロードがホームページ上から行える様になりました。

また、住職任命申請や責任役員申請・門徒総代届など、各種願記申請用紙がダウンロードできる『お寺の情報箱』（浄土真宗本願寺派寺院活動支援部公開サイト）へのリンクも追加されました。

さらに、教区新報のバックナンバー（二号から最新号まで）が閲覧できる様になるなど、新しくなったホームページを是非ご覧ください。

※ホームページのアドレスは左記の通り
<http://www.hongwanji-kobe.jp/>



『いのち』の作文発表

「学生が想いを綴る」

『阪神・淡路大震災物故者総追悼法要』（二面に記事）に続いて行われた『いのちを考える研修会』で、『東日本大震災復興に向けて』私が出来ることと『をテーマに、宗門関係学校の学生が作文の朗読発表を行った。



朗読する仲野遥香さん(神戸龍谷中学校)

自分自身を含めた多くのいのちについてどう捉え、どう考えているのか？また、震災復興に向けて自分が出来ることは何か？学生ならではの視点・感性で綴られた想いに、多くの参加者が頷いていた。

阪神・淡路の震災時には母親のお腹の中だったという河南慎さん(神戸龍谷高校)は「地震・津波といった天災の前には自分達はちっぽけな存在である」と否応なく自覚させられる。しかし、ちっぽけな存在であっても、互いに手を取り合って助け合うことが出来る」

「復興に向けて大切なことは、『想い』をつたえること。『寄り添う心』が必要。ちっぽけで弱い存在であっても、『寄り添う』ことで私達は強くなれる」と力強く想いを話した。

発表の学生は次の通り

- ◆仲野遥香(神戸龍谷中学校二年)
- ◆鳴瀬梨乃(神戸国際中学校二年)
- ◆坂本実乃里(須磨ノ浦女子高等学校二年)
- ◆河南慎(神戸龍谷高等学校二年)

報恩講子どもの集い

十二月二十二日、神戸 弥陀様へのお莊
別院を会場に『震災支援
報恩講子どもの集い』が
開催された。

今年は二十四単位会、
百二十二人の子ども達が
集まり、保護者・スタッ
フも併せると二百五十六
人での報恩講子どもの集
いとなった。

午前は別院本堂にて、
報恩講の法要が勤まり、
子ども達自身の手で、献
灯・献華・献香をして阿



大人気のわた菓子

山のご馳走に、
子ども達は大喜びのお昼とな
った。
お昼の後は、
一階のホール
にて少年連盟
スタッフによ
る劇『ともだ
ちになりたい
(原作／泣いた

赤鬼』の上演。
本格的なセット・照明・
BGMの中、少年連盟ス
タッフ熱演の劇に、子
ども達は釘付けとな
った。
中には、赤鬼・青鬼役の
スタッフにびっくりして
逃げ出す子も。
劇の間、三階の本堂で
は親の部として三上章道
師(滋賀教区大津組福賢
寺)の講演があり、『合
掌ができない子どもた
ち』をテーマにお話を頂
戴した。
劇・講演の後は閉会式
となり、最後にスタッフ
全員で、子ども達を見
送って終了となった。



本格的なセットでの劇

僧侶を目指して! —寺院子弟が研修—

十二月二十
六日から一泊
二日の日程で
『寺院子弟得
度考査研修
会』(兵庫教
区寺院子弟
協議会主催)
が開かれた。
教務所にて行われる得
度考査の合格を目指して
行われる本研修会。今回
は八名の寺院子弟が参加
し、仏教・浄土真宗の基
礎的内容や、勤式・作法、
莊嚴などについて講習が
行われた。

また、本研修会には教
区仏青より五名がスタッ
フとして参加。正信偈の
お勤めや、作法などの指
導、補佐にあたった。

たつの市より参加の中
村友亮さんは、「寺院出
身ではなく、全く触れた
事が無い世界。ゼロから
の出発になるが、今回の
研修会に参加して、これ
から自分が何を学ばなけ
ればならないのか、自分
に欠けているものは何な
のか?を確認することが
できた。

得度を受けて僧侶にな
ることができたら、地域
の為に、頼りにされ
るお寺にしたい。

何より、ご門徒の皆様
に「中村さんに来ても
らって良かったなあ」と
言われるような僧侶にな
りたい」と目標を語った。



仏青会員が衣体の被着法を指導した

九条の会全国集会

一月二十二日、神戸別院
本堂を会場に『念仏者九
条の会・大谷派九条の会
全国集会』が開催された。
今集会では、昨年末、新
政権(第二次安倍内閣)が



討論会の様子
(左から棚原師、玉光師、杵築師、高田師)

発足し、再び浮上し始めた
憲法改正論について、真
宗者・念仏者のさらなる
取り組みを再確認するた
めに、テーマを『再び動き
始めた改憲論』と、われ
われの運動を広げるため
に」と設定し、高田健師
(許すな!憲法改悪・市民
連絡会事務局次長)を講
師として迎え、まず基調
講演が行われた。
続いてシンポジウムが開
かれ、棚原正智師(本願寺
派)をコーディネーターに、
高田健師、玉光順正師(真

宗大谷派、杵築宏典師(本
願寺派)をパネリストに迎
え、活発な議論が行われ
た。そして全体会の最後
には、九条の会代表である
信楽峻磨師より、仏教他宗
派にも呼びかけ、改憲反
対運動を拡げていくこと
を参加者全員で確認した。
念仏者九条の会の全国
集会が兵庫で開催される
のは、今回が初めてであり、
教区における今後の取
組み(ヤスクニ問題、平和
問題)に向けて、足掛かり
となる集会となった。

教区だより 2月・3月

2 月

1 (金)	寺婦運営委員会	10:30
2 (土)	第一土曜仏教講座 (野村康治師 大阪教区中島東組/淡路介護老人福祉施設ビハール施設長)	13:30
〃	第3連区近畿ブロック門徒推進員実践運動研修会(3日まで)	13:00
4 (月)	特法協役員会	16:00
6 (水)	少年連盟役員会	15:00
〃	第11回布教大会	10:00
7 (木)	別院仏婦定例法座(森川晋乗師 神姫組)	
9 (土)	まことの保育 第4回連続研修会	13:00
10 (日)	中仏集い会	
12 (火)	キッスサンガアドバイザー会議	15:00
〃	勧学寮真宗講座(13日まで)	13:00
13 (水)	矯正教化連盟大阪管区研修会	14:00
〃		9:00
14 (木)	ビハール定例研修会(釋徹宗師 大阪教区 豊島北組)	13:30
15 (金)	常例法座(16日まで 波多正宣師 阪神南組)	13:30
17 (日)	中仏・同窓会	
18 (月)	群萌会	18:30
19 (火)	聞法の集い(21日まで)	熊本方面
20 (水)	第3連区青年布教使研修会(21日まで) 京都教区	12:30
23 (土)	モダン寺土曜子ども会	10:00
24 (日)	兵庫教区仏教壮年の集い	10:30

25(月)	現生正定聚講師研習研修	10:30
〃	御司朋の研修会	13:00
〃	仏婦委員総会	10:30
26(火)	保育連盟理事・編集委員会	14:00
〃	平成24年度布教使研修会	13:00
27(水)	寺婦総会	10:30
28(木)	仏婦コーラス練習会	10:30

3 月

1 (金)	コーラスフェスティバル	10:30
2 (土)	第一土曜仏教講座 (武田晋師 山口教区区組／本願寺派司教)	13:30
4 (月)	布教同志会 第13回布教神戸大会	8:00
5 (火)	組長ブロック長会	13:30
10 (日)	常備会	13:30
10 (日)	第28回若婦人のつどい	10:30
11 (月)	中仏集い会	
12 (火)	保育連盟臨時総会	15:00
〃	寺婦研修旅行(13日まで)	京都・滋賀
13 (水)	近同推会員研修会	鷺森別院 13:30
14 (木)	第6回各種法座出講予定者事前学習会	12:30
25 (月)	第155回定期教区会	13:30
〃	兵庫教区実践運動研修会	10:30
〃	ビハラー兵庫役員会	16:30
28 (木)	年度末組長会	14:30
〃	仏婦コーラス練習会	13:30

佛教讃歌CDのご案内



大谷千正師（姫路東組正楽寺住職）作曲による合唱曲『礼讃Ⅰ・Ⅱ』が収録されたCD『二十一世紀合唱音楽祭Ⅴ』がJILLAレーベルよりリリースされました。

『礼讃Ⅰ』が『礼讃Ⅱ』が〔初夜礼讃Ⅱ〕より抜粋の形で歌詞として歌われています。楽譜もJILASTOREより配信中。

お申込み、お問い合わせは国際芸術連盟まで【電話】〇二・二三五六・四〇三三【FAX】〇三・二三五六・五七八〇

ビハーラ兵庫定例研修会のご案内

—講師に釋徹宗師—

ビハール兵庫の定例研修会が開かれます。ご講師はグルーブホームを運営するNPO法人リライフ代表の釋徹宗師(大阪教区豊島北組如来寺)です。多くのご参加をお待ちしております。◆日時／二月十四日(木)十三時半～◆会場／本願寺神戸別院(三階本堂)◆参加費／五百円※ビハール兵庫会員は無料◆希望の方は教務所までお申込みください【電話】〇七八・三四一・五九九九

寺住職）平成二十四年
十二月二十三日七十五歳
松田誠宗（宍粟組正福寺
住職）平成二十四年十二
月二十七日五十二歳
石田千代子（加古川組養
福寺前坊守）平成二十四
年十二月二十八日八十四歳
中川八重（宍粟組明證寺
前坊守）平成二十五年一
月七日八十九歳
寶 純雄（出石組光顯寺
前住職）平成二十五年一
月十三日六十三歳

【敬称略】
一月二十一日現在



昨年の様子

／本願寺神戸別院（二階ホール）
◆鑑賞のみも可（参加費五百円）※詳細は教務所コーラスフェスティバル担当まで【電話】〇七八・三四一・五九四九

回のお彼岸号は、大岡昌久師（神明組金勝寺）にご執筆いただきました。

一部二十円（送料実費）にて販売しております。

また、百部以上ご注文の場合には寺号を無料で印刷致します。教務所まで、電話・FAXにてご注文ください。

多くの方に仏教讃歌に親しんでもらうと共に、教区内のコーラスグループの練習成果発表の場として、毎年開催されるフェ

スティバル。皆様のご参加をお待ちしております。
◆日時／三月一日(金) 十時三十分～十六時三十分
◆会場／本願寺神戸別

コーラスフェスティバル開催

リーフレット『お彼岸』
受付中



年三
回発行
のリー
フレッ
ト『法
シリ

左記の方がご逝去されましたので謹んで敬弔の意を表します

敬吊